

GRADUATE SCHOOL OF INFORMATION SCIENCE AND TECHNOLOGY, HOKKAIDO UNIVERSITY

- ▶ 情報理工学コース
- ▶ 情報エレクトロニクスコース
- ▶ 生体情報工学コース
- ▶ メディアネットワークコース
- ▶ システム情報科学コース

- Course of Computer Science and Information Technology
- Course of Electronics for Informatics
- Course of Bioengineering and Bioinformatics
- Course of Media and Network Technologies
- Course of Systems Science and Informatics

北海道大学
大学院情報科学院 情報科学専攻
DIVISION OF INFORMATION SCIENCE AND TECHNOLOGY,
GRADUATE SCHOOL OF INFORMATION SCIENCE AND TECHNOLOGY,
HOKKAIDO UNIVERSITY

〒060-0814 札幌市北区北14条西9丁目
TEL 011-706-6514
FAX 011-706-7890

mail pub@ist.hokudai.ac.jp
https://www.ist.hokudai.ac.jp



[北海道大学 大学院情報科学院 広報・情報室]



Exploring new fields opens up new opportunities and possibilities.

新たな分野との
出会いが
新たな世界を
つくり出す。

社会の発展に欠かすことのできない情報科学。本学院は、情報科学の分野において優れた実践力と研究開発力をもって国際的な活躍ができ、世の中をより豊かにする新技术を生み出す人材の育成を目的としています。そのためには異なる分野の領域同士を融合させ、領域の可能性を広げることが必要です。本学院では所属コースで専門的な知識・技術を学びながら、もう一つコースを選択して異分野も学ぶ「双峰型教育」を実施。さらに企業・国内外の研究機関との連携により、新たな価値やイノベーションの創造を目指します。



MESSAGE

情報科学研究院長・
情報科学院長
近野 敦

長い間、コンピュータは、作文や作曲、絵を描くのは苦手と思われてきました。しかし、2022年に人間同様に絵を描いたりテキスト会話ができる生成系AIアプリが相次いで発表され、世の中に衝撃を与えました。AI技術はこれからも、世界を豊かで便利にしていってほしい。本学院は、このような最先端AI分野での深い知識を教育するとともに、AI技術を用いて、他分野(医学、農学、理学、工学等)や社会での実課題を解決できる人材を育成しています。本学院から、世界の未来を支える人材が育っていくのを楽しみにしております。

大学院構成図

大学院情報科学院 情報科学専攻
[修士課程196名、博士課程43名]

情報理工学コース

情報エレクトロニクスコース

生体情報工学コース

メディアネットワークコース

システム情報科学コース



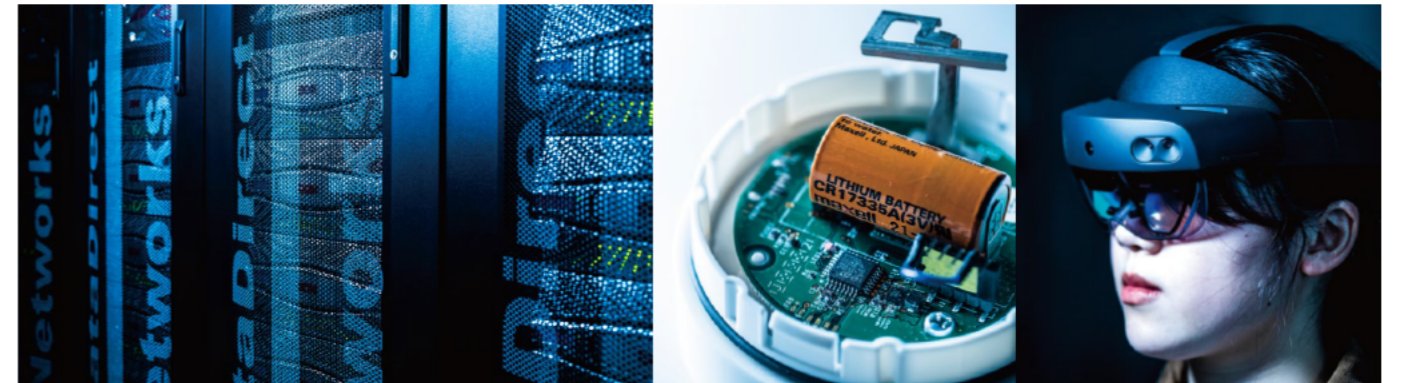
理学部 数学科

工学部 情報エレクトロニクス学科



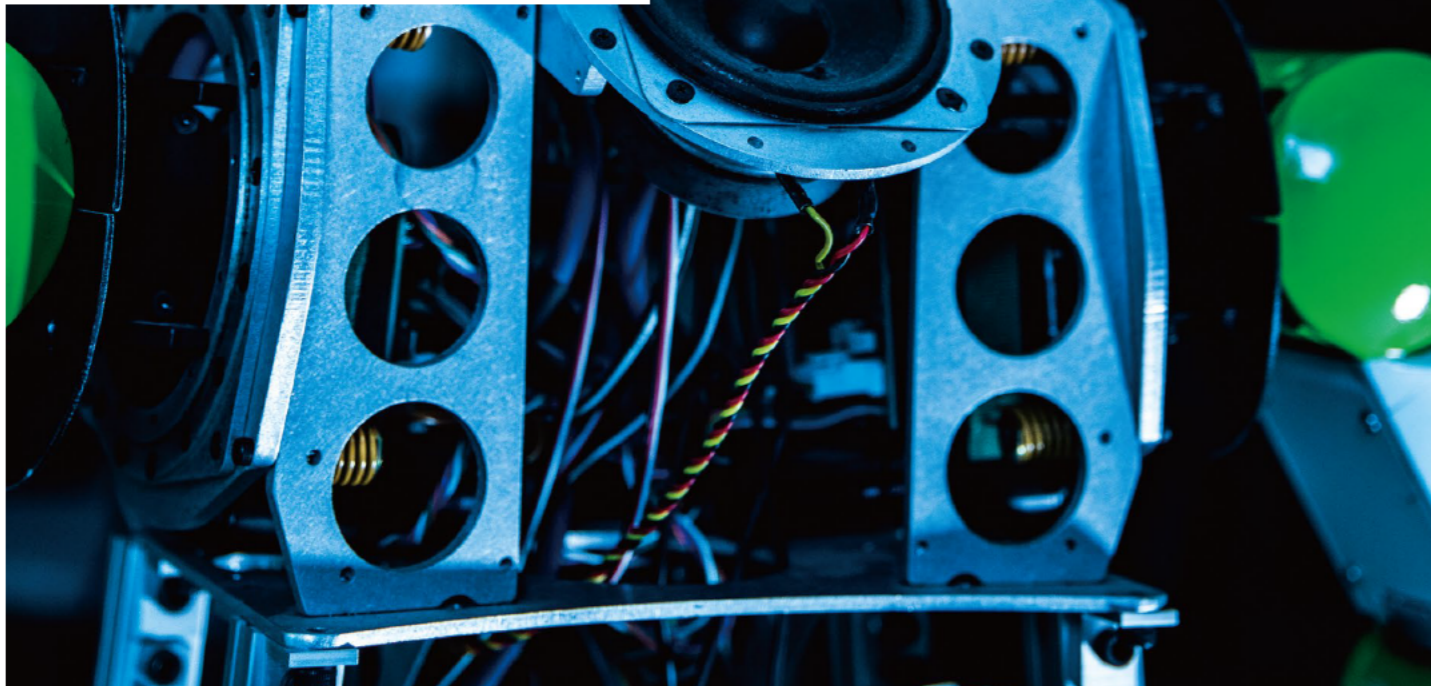
理学と工学、2つを武器に 世界に新たな価値を

スマートフォンやウェブはもちろん、医療や福祉分野で支援するシステム、社会の安全や福祉に貢献するロボット、エネルギーや環境を観測するセンサーなど、今や社会の発展に欠かせないコンピュータ技術。情報理工学コースでは、そんなコンピュータ技術の発達により生まれた膨大な情報や知識に対し、数理科学などの理学的手法で理解しながら、工学的手法で革新的な次世代情報技術を生み出し、社会に新たな価値を創造するための教育・研究開発を行っています。複合情報工学、知識ソフトウェア科学、数理科学、大規模情報システム学の基礎から応用までの幅広い学びで、さまざまな情報システムに関して科学的な理解に基づいて工学的な問題解決ができる人材を育成します。



情報理工学 コース

course of computer science and
information technology



主要カリキュラム

- 知能ソフトウェア特論
- 自律系工学特論 ■ 調和系工学特論
- ヒューマンコンピュータインタラクション特論
- 大規模知識処理特論 ■ 知識ベース特論
- アルゴリズム特論 ■ 情報数理学特論
- 情報認識学特論 ■ 知能情報学特論
- ハイパフォーマンスコンピューティング特論
- 先端ネットワーク特論 など

主専修と副専修の可能性

主専修	副専修	可能性
情報理工学コース	情報エレクトロニクスコース	次世代材料・デバイス・回路設計技術等に 支えられたアーキテクチャに対応する新たな 計算概念と実装に関する研究分野の創設等
	生体情報工学コース	医療・健康・通信情報等の分野において 得られるビッグデータに特化した知識処理技術の 開発、介護や福祉分野への感性工学応用等
	メディアネットワークコース	画像・自然言語などを含む多様な情報表現と 高速通信技術の融合としてのマルチメディアや IoTに対応する次世代AI技術の開発等
	システム情報科学コース	エネルギー・交通流通・防災などの実システムが 融合した高度インフラストラクチャーの制御や 運用に関わる学際理論の構築等



社会シミュレーション・ゲームAI

知能ソフトウェア研究室

教授：野田 五十樹 / 准教授：坂地 泰紀

自然言語処理を含む人の知能を模倣する人工知能の技術を中心に、社会課題の解決や人々の知的行動のモデル化とその応用を研究しています。ゲームから社会サービスまで幅広い領域の問題を、理論と実践を両輪として取り組んでいます。



ディーラーニングによるRCカーの機械学習

調和系工学分野

教授：川村 秀憲 / 助教：横山 想一郎

人と人工知能が複雑に調和して有機的に機能するため、人々の幸せや社会のあるべき姿を意識して研究に取り組んでいます。学術的な研究成果をあげるだけでなく、その成果を直接誰かに使ってほしいとの思いから、積極的に企業との共同研究も行っています。

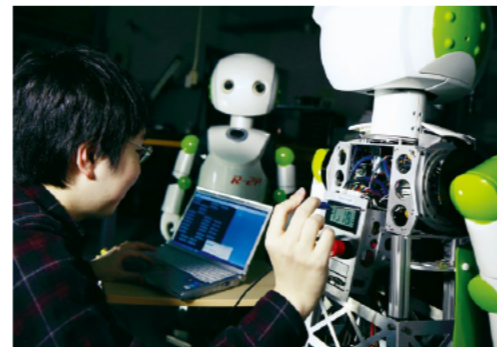


深層学習を用いたグッピー群行動の解析と群制御

自律系工学分野

教授：山本 雅人 / 准教授：田村 康将

生命が持っている柔軟で適応的な知能、「生命知能」の理解と創造を目的として、研究を行っています。対象とする自然現象は、生物のもつ適応的生命活動から、生物群行動、人の戦略的知能・認知、人と人、人と機械の相互作用にまで及びます。



コミュニケーションロボットの構築

ヒューマンコンピュータ インタラクション研究室

教授：坂本 大介

人間を中心としたインタラクティブシステムの研究を行っています。例えば、人とロボットが円滑にコミュニケーションを行う方法を考えたり、パソコンやスマートフォン、IoT機器など最新の情報機器を簡単に扱うことが出来るなど、新しいユーザインタフェースの開発を行っています。



大規模知識処理計算サーバー群

大規模知識処理研究室

教授：堀山 貴史 / 准教授：寄戸 和寿

最先端のアルゴリズムの理論をベースとして、機械学習、データマイニング、システム最適化、情報セキュリティなどの技術を開発し、社会基盤システムの解析・設計や、材料/生命科学のビッグデータ解析など、実社会の幅広い課題に貢献することを目指します。



人工知能と人間の協働

知識ベース研究室

教授：吉岡 真治 / 准教授：李 吉屹

人間の知的活動により日々産み出される大量のデータを、再利用可能な形で整理する知識処理技術の研究を行っています。人間に理解しやすい知識を作成することで、人工知能が活用できるだけでなく、人工知能と人間の協働できる環境を目指します。



データマイニング

情報知識ネットワーク研究室

教授：有村 博紀 / 准教授：小林 靖明 / 助教：儀間 達也

私たちの研究室では、多種多様で膨大なデータの集まりから、役に立つ情報や知識を取り出すためのソフトウェア技術「情報検索と知識発見のための情報基盤技術」について、基礎理論からその応用まで幅広く研究をしています。



様々なアルゴリズムの開発

アルゴリズム研究室

教授：中村 篤祥 / 准教授：Nguyen, Dai, Hai

アルゴリズムとはコンピュータが問題を解く手順です。本研究室では、学習問題とマイニング問題の最適化アルゴリズムの開発と理論解析を行っています。また、それらのインターネット、ハードウェア設計および医学・生物学分野への応用を行っています。

数理学分野

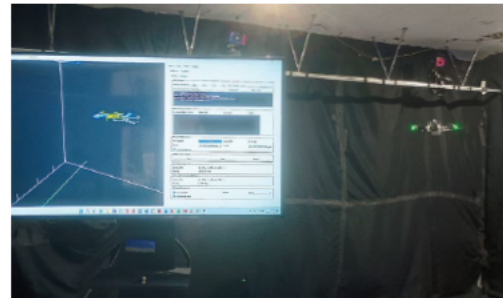


色彩復元

情報数理学研究室

教授: 田中 章 / 特任准教授: 河川 万由香

情報科学の様々な問題を、場当たりの手法によってではなく、きちんと理論的に解決することを目指しています。具体的には、関数解析理論を用いた信号復元法の開発や、抽象代数の理論に立脚した、人間にとって使い易い論理体系の構築などを目指しています。

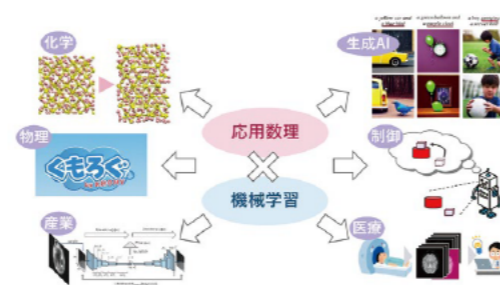


可視光測位技術によるドローントラッキング

知能情報学研究室

教授: 杉本 雅則 / 准教授: 中村 将成

われわれがより安全で安心して過ごせる生活環境を実現するための高度知能情報システムに関する研究を行っています。人工知能、ロボット、センサ等に関わる技術の開発を通して、われわれを優しくサポートする賢い(スマートな)環境の構築を進めています。

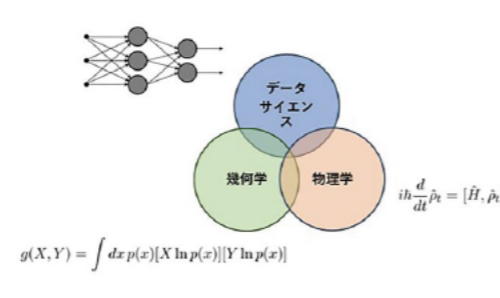


目的に合わせてAIをデザインする

構造化知能研究室

教授: 松原 崇 / 准教授: Xiao, Ling

解析力学や微分幾何学の技術と深層学習を組み合わせることで、高精度と高信頼性の両立した人工知能技術を開発しています。この技術により、物理法則に忠実な計算機シミュレーション、幾何学的対称性を保存した画像認識、テキストからの画像生成などを実現します。



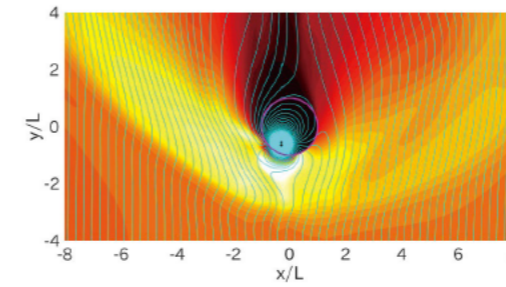
情報科学と物理学の融合

情報解析学研究室

准教授: 宮原 英之

情報科学とデータサイエンス、物理学は、これまで独立した領域として進化してきました。私たちはこれらの分野を融合させ、新たな可能性を探求しています。機械学習や画像処理、自然言語処理などの情報科学、統計学や情報幾何学、統計力学や量子力学などを組み合わせることで、未知の領域を開拓し、革新的な研究成果を生み出すことを目指しています。

情報基盤センター: 大規模情報システム学分野



スーパーコンピュータ「京」を利用した大規模第一原理シミュレーションから明らかにした天体磁気圏の変形

ハイパフォーマンスコンピューティング研究室

教授: 梅田 隆行 / 准教授: 深谷 猛 / 助教: 佐竹 祐樹

スーパーコンピュータやメニーコアプロセッサ・GPUなどを利用した高性能計算に関する研究を行っています。工学の諸問題を最新の計算環境を活用して解明することを目標とし、基礎的研究から実問題への応用まで幅広い研究・開発を推進しています。

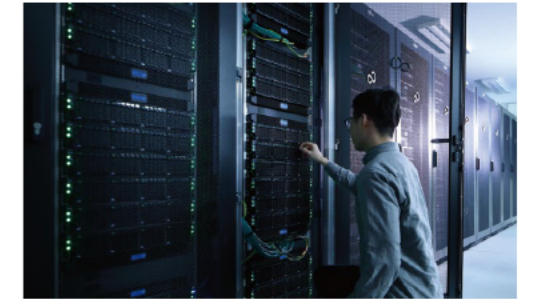


視線を向けて話しかけるアバタ

先端ネットワーク研究室

教授: 飯田 勝吉

モバイル・ユビキタス情報社会の基盤となるコンピュータネットワークとコンピュータグラフィックスを応用した仮想現実・拡張現実システムや、ネットワーク通信品質提供とセキュリティに関する実証的研究を推進し、ICTが切り拓く近未来の可能性を追求します。

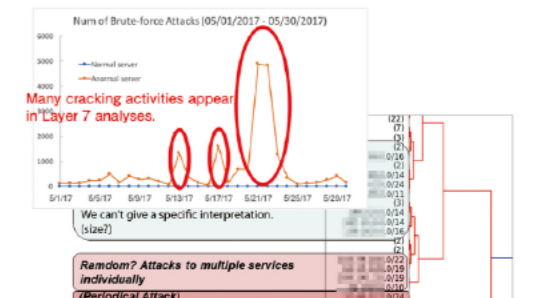


スーパーコンピュータ・クラウドシステム

情報システム設計学研究室

教授: 棟朝 雅晴 / 准教授: 杉木 章義

生物の進化に影響を受けた進化計算、機械学習および人工知能技術とOS・システムソフトウェアによる大規模計算システム構築技術を融合し、クラウドコンピューティングを中心とした新しい時代における情報システム設計手法の確立と大規模な運用を目指します。



サイバーセキュリティにおけるデータ分析

先端データ科学研究室

教授: 南 弘征 / 准教授: 近藤 賢郎

先端データ科学研究室は、現在、情報基盤センターのサイバーセキュリティ研究部門に属しており、情報科学・データサイエンス・コンピュータセキュリティ技術に関する広範な研究テーマを扱っています。

理学研究院



画像の特異点の安定変形

数学研究室

教授: 沼田 泰英

今日、多くのイノベーションの背後には、現代的で高度な数学理論があります。本研究室では、トポロジー・代数幾何学・微分幾何学に股がる特異点論の視点から、情報科学と数学の橋渡しを模索します。

ビッグデータとIoTに関する協同センター



マサチューセッツ大学アマースト校

University of Massachusetts Amherst

教授: Allan, James, Zilberstein, Shlomo

ビッグデータとIoTに関する協同センター(CCB)は、情報科学研究院における社会創造型の実世界の問題解決に資する協同研究・教育拠点で、マサチューセッツ大学アマースト校の情報科学分野の教員が教育・研究を担当します。



情報 エレクトロニクス コース

course of electronics for informatics

最先端の情報科学で 生活も心も豊かな世界へ

多岐にわたる分野で使用され、経済の発展、人々の生活に不可欠な情報エレクトロニクス技術。情報エレクトロニクスコースでは、次世代情報処理システムに求められる新しい情報ネットワークと情報システム、ならびにその中核となるコンピュータ・ソフトウェアの研究・技術開発と、それを担う人材の育成を目的としています。具体的には、材料、デバイス、回路・システムアーキテクチャ、光・テラヘルツネットワークシステムにわたる総合的な研究開発、ナノ構造・ナノ材料などの新しい物質群の創成、量子現象を活用する新しい電子・光デバイスの開拓、各種デバイスによる機能的な電子・光回路と集積システムの開発、次世代システム構築に向けた情報処理アーキテクチャや論理設計を見据えたハードウェアの開拓などがおもな研究分野です。



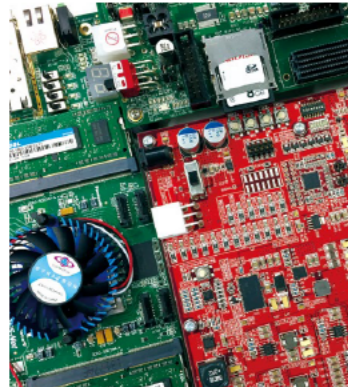
主要カリキュラム

- 固体物性学特論
- 半導体デバイス物理学特論
- 電子デバイス学特論
- 集積プロセス学特論 ■ 光エレクトロニクス特論
- 電子材料学特論 ■ 集積システム学特論
- 光情報システム学特論 ■ 応用デバイス回路学特論
- 量子ナノエレクトロニクス特論
- 情報エレクトロニクス特別演習(修士課程)
- 情報エレクトロニクス特別研究(博士後期課程)
- 情報エレクトロニクス特論 など

主専修と副専修の可能性

主専修	副専修	可能性
情報 エレクトロニクス コース	情報理工学コース	情報科学における階層の下層(エレクトロニクス)から上層(ソフトウェア・アプリ)までを広く見わたせるようになる
	生体情報工学コース	生命科学とエレクトロニクスの融合技術(計測技術や医療技術・サービス)の未来を見逃せるようになる
	メディアネットワークコース	情報メディアにおけるエレクトロニクスの使われかたやニーズを捉えることで情報エレクトロニクスの近未来を描けるようになる
	システム情報科学コース	ナノエレクトロニクス・回路を、統合システムとしてロボットやエネルギー技術などに展開する世界を俯瞰できるようになる

集積システム分野

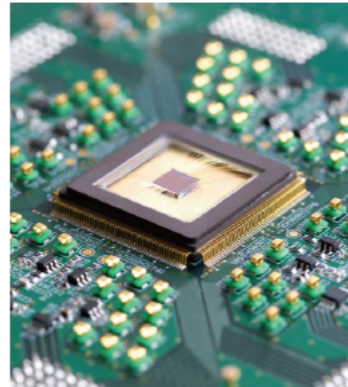


やわらかいハードウェアFPGA

集積アーキテクチャ研究室

教授：丸亀 孝生

AI・DXがもたらす社会価値向上とその持続的発展のため、従来コンピューティングの枠を超えた新原理の情報処理方法・ハードウェアが求められています。本研究室では近年目覚ましく発展する情報科学・脳科学と連携して、ヒトを凌駕する知的処理の追求および脳のように柔軟で高効率な情報処理を可能とする応用指向の集積アーキテクチャとそのための基礎的な先端デバイス・革新的回路の研究を行います。

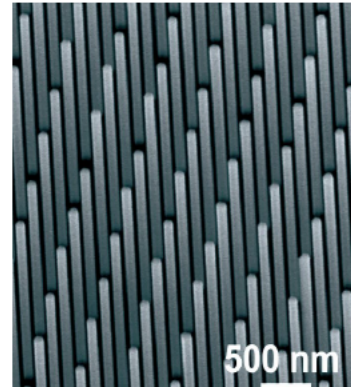


知的情報処理LSIと応用回路

集積ナノシステム研究室

教授：浅井 哲也
准教授：安藤 洗太

ナノメートル(10⁻⁹m)のスケールで構成される半導体ナノデバイスと回路技術を融合した省エネかつ学習などの新機能を持つ「未来の情報処理システム」の創出に挑戦します。物理数学・回路/デバイス工学・情報学の領域を広く見渡し、材料やデバイスの本質を理解して回路システムに活用する研究を行います。

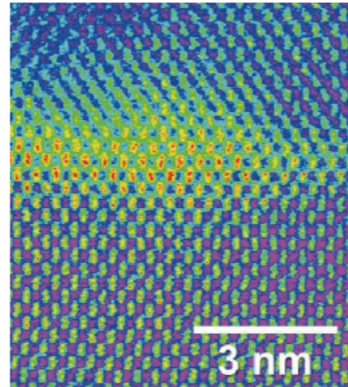


半導体ナノワイヤアレイ

集積電子デバイス研究室

教授：本久 順一、富岡 克広

スマートフォンなど電子機器の中では、原子百個程度の大きさしかない電子デバイスが動いています。本研究室は半導体ナノワイヤを軸に、低消費電力電子素子や高効率太陽電池など、省エネルギー社会に寄与する革新的デバイス技術を作り出すことを目指しています。



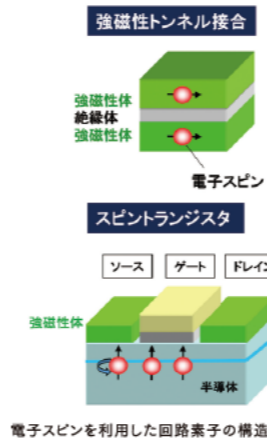
作製したナノ材料の電子顕微鏡写真

電子材料学研究室

教授：樋浦 諭志
准教授：菅原 広剛

新しい電子・光機能を持つ情報システムの開発を目指して、半導体量子ドットを始めとするナノ電子材料を用いたレーザなどの光電情報変換デバイス、およびプラズマなどを利用した集積化プロセスの研究を進めています。

先端エレクトロニクス分野

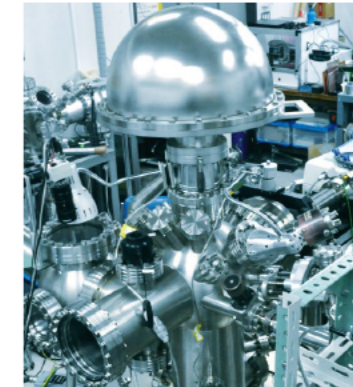


電子スピンを利用した回路素子の構造

ナノ電子デバイス学研究室

教授：植村 哲也
准教授：山ノ内 路彦

電子のスピン(小さな磁石としての性質)を利用して情報の演算や記憶などを効率的に行うことができるデバイス(回路部品)や集積回路の研究を行っています。この研究は、消費電力の少ない電子機器や感度の非常に高い超小型磁気センサーの実現に役立ちます。



マグネタイト表面の計測システム

ナノエレクトロニクス研究室

教授：末岡 和久
准教授：古賀 貴亮、Subagyo, Agus
助教：八田 英嗣

走査型プローブ顕微鏡技術を応用した原子分子レベルのスピントラップ操作技術やカーボンナノチューブなどを応用したセンサの開発、スピン干渉によるスピントラップの基礎研究などをすすめ、原子分子レベルから新しいエレクトロニクスの開拓を目指します。



レーザによる超並列光信号処理の実験

光エレクトロニクス研究室

教授：徳永 裕己
特任准教授：岡本 淳

光は高い分解能、高速性、並列性などの性質から優れた制御デバイスであり、量子レベルで情報処理を行う量子コンピュータの制御や量子通信においても重要な技術となっています。光技術を駆使し、これまでにない未来の情報処理技術を創り出します。



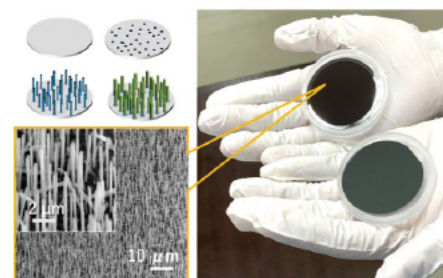
無機ナノ材料と機械学習を融合したフレキシブルセンサシステム

ナノ物性工学研究室

教授：竹井 邦晴
助教：劉 怡君

従来電子機器は、硬くて曲げることができないものでした。なぜこのような電子機器は曲げることができないのでしょうか？ 私たちの研究室では、新たな材料、応用、機械学習を取り入れることで、この常識を覆す次世代の「柔らかい」センサシステムの開発を行っています。

量子集積エレクトロニクス研究センター

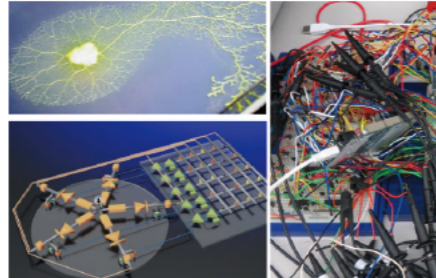


ウエハ全面に自己形成する高機能半導体ナノ構造

先進ナノ電子材料研究室

教授：石川 史太郎

III-V族化合物半導体エピタキシャル成長技術を基盤に、新規電子材料の探索と半導体接合のナノレベル制御・異種材料接合ナノワイヤの基盤技術を確立し、高効率光電変換、次世代通信デバイス、高機能ナノエレクトロニクス応用を目指します。

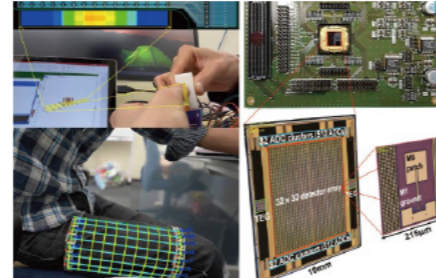


アメーバ型コンピュータ

量子知能デバイス研究室

教授：葛西 誠也 / 准教授：佐藤 威友、谷田部 然治

自然界には、身のまわりの機械には真似できない、不思議で魅力的な能力をもった生物がたくさんいます。その巧妙な仕掛けをひもとく、分子レベルの微細材料加工や物理現象を駆使して人工的に再現し、さまざまな電子機器に活かし役立てる技術の研究をしています。



医療向けセンシング技術とテラヘルツ波イメージセンサ

機能通信センシング研究室

教授：池辺 将之 / 准教授：赤澤 正道

新材料デバイス、複合センサ、低電力CMOS集積回路、インテリジェント信号処理の開発により、新たな周波数領域の開拓や機能的なシステムの基盤技術の確立を目指します。また、省エネルギー社会の実現に寄与すべく、窒化物半導体デバイスの作製プロセスについての研究も行っています。

電子科学研究所

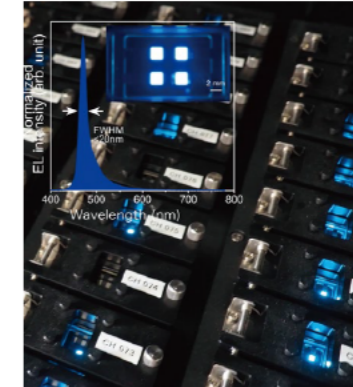


セラミックス薄膜作製の様子

薄膜機能材料研究分野

教授：太田 裕道
助教：ジョン アロン

超精密な薄膜作製装置を用いて、機能性セラミックス薄膜を作製します。機能性セラミックスが有する電子・熱・光・磁気機能を最大限に引き出し、これまでにない優れた薄膜機能デバイスの開発を目指しています。



有機LEDからの発光

有機量子光デバイス研究分野

教授：中野谷 一
准教授：田口 敬清
助教：石井 智大

本研究室では、励起子に関する研究を基盤として、次世代光エレクトロニクスの実現を目指した研究を進めています。特に光の量子性を利用するエネルギーハーベスティング技術、光と物質の強結合状態、ナノ三次元プリンターなど、次世代光科学の研究に取り組んでいます。



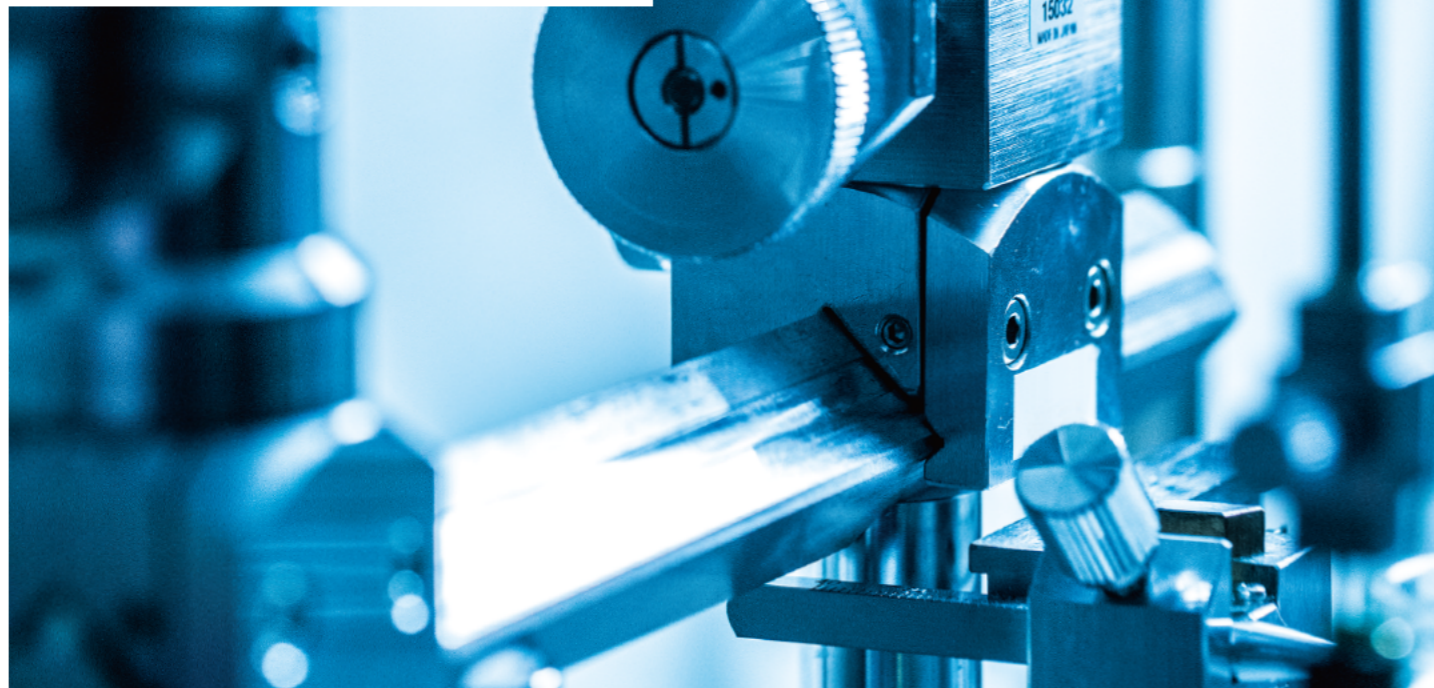
生命・人間・医療を 情報科学で切り開く

近年発展のめざましいコンピュータやナノテクノロジー技術と、生命・人間に関わる科学技術が融合することで生まれる生体情報工学は、生命、特に人間を中心とする新しい学際領域としてさらなる発展が期待されています。生体情報工学コースでは、コンピュータ技術やナノテクノロジーなどの最先端技術を駆使した生命・人間・医療に関わる科学技術の発展への寄与と、新たな学術領域を切り開くための研究・教育を目的としています。従来の生体工学研究だけでなく、分子・細胞レベルの生体情報学を強化するためにゲノム情報、細胞情報、バイオナノ工学、再生医療工学などの新分野を取り入れ、生体情報工学の研究・教育体制を整えることで、分子から個体レベルまで幅広く研究し、生体情報工学の先導的研究を行っています。



生体情報工学 コース

course of bioengineering
and bioinformatics



主要カリキュラム

- ゲノム情報科学特論
- 情報生物学特論 ■ 情報医科学特論
- 医用システム工学特論 ■ 細胞生物学特論
- 神経制御工学特論 ■ 脳神経科学特論
- バイオイメージング特論 ■ ナノマテリアル特論
- ナノフォトニクス特論 ■ 先端医工学特論
- ナノイメージング特論
- 生体情報工学特別演習(修士課程)
- 生体情報工学特別研究(博士後期課程) など

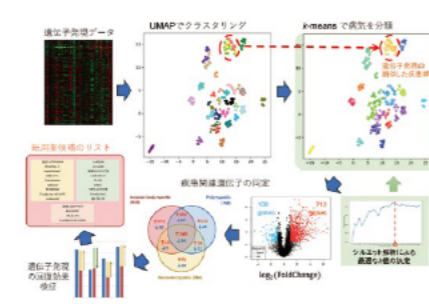
主専修と副専修の可能性

主専修	副専修	可能性
生体情報工学 コース	情報理工学コース	人工知能技術を利用した医療・健康分野におけるビッグデータからの情報抽出および診断・治療法への展開等
	情報エレクトロニクスコース	新規材料・構造・原理を用いた電子回路やシステムアーキテクチャを活用した医療現場のニーズに合わせた医療機器の開発等
	メディアネットワークコース	代謝等を利用した医療画像取得と没入型バーチャルリアリティによる安全・安心な外科手術の実現等
	システム情報科学コース	最先端の制御技術を駆使した医療機器の開発や脳機能補償を実現するブレイン・マシン・インターフェースへの応用等

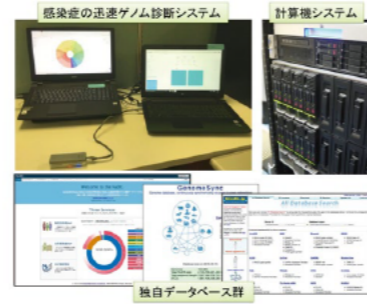
バイオインフォマティクス分野



DNA実験の様子



AIを活用した既存薬転用候補探索



疾患バイオインフォマティクス研究

ゲノム情報科学研究室

教授:渡邊 日出海 / 准教授:小柳 香奈子

多くの生物の「ゲノム情報」を比較解析することによって、様々な生命現象や生物の進化・多様性、病原性の原因等を解明することを目指しています。大型計算機を用いた情報解析に加えて、生物採集やDNA配列決定などの生物実験も行っています。

情報生物学研究室

教授:遠藤俊徳 / 准教授:長田直樹

21世紀の生物学は情報解析が中心です。遺伝子の本質は遺伝情報であり、生物の活動を支配し、解析や理解にも情報解析が欠かせません。当研究室は情報科学から見た生物とその進化の解明を目指し、そのことを通じて医薬農学への貢献を期待しています。

情報医科学(客員)

客員教授:今西 規

「ゲノム情報を生かした未来の医療を創る」をモットーに、東海大学医学部(神奈川県伊勢原市)で生命情報学の基礎研究に取り組んでいます。特に、ゲノム解析を基盤とした感染症の迅速診断や個別化医療の開発を進めています。

バイオエンジニアリング分野

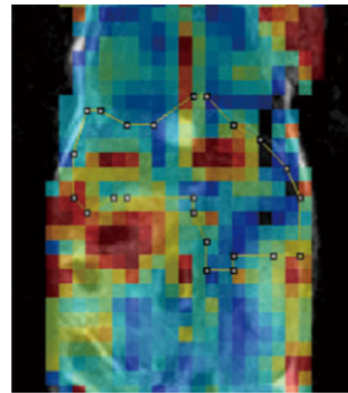


生物情報ナノ計測

細胞生物学研究室

教授:岡嶋 孝治

生体システムは、細胞間のコミュニケーションを通じて正常な状態を維持しています。この細胞の情報伝達には、物理学的相互作用(力学・電磁気学・熱力学)が重要な役割をしていますが、そのメカニズムは未だに明らかにされていません。本研究室では、原子間力顕微鏡を代表とする最先端ナノ計測技術を用いて、組織形成・胚発生における物理学的相互作用を解明し、細胞診断および再生医療への応用研究を進めています。

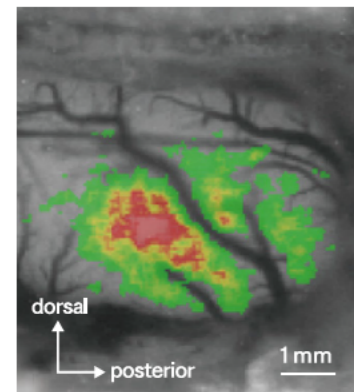


体の中の化学反応(代謝)を可視化する

磁気共鳴工学研究室

教授:平田 拓, 松元 慎吾

核スピン/電子スピンの生体計測法や画像診断技術を研究しています。目で直接見えない体内の情報も、電子や原子核の信号を用いると可視化できます。特に、腫瘍内のpHや酸素濃度、脳機能障害に伴う脳代謝変容のイメージングを目指しています。

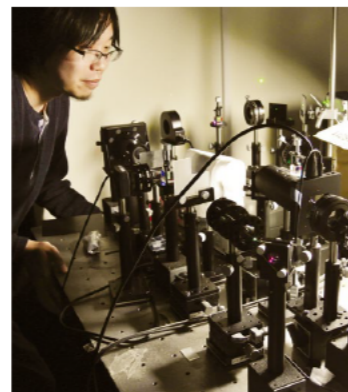


聴覚皮質神経活動のイメージング

神経制御工学研究室

教授:舘野 高
准教授:西川 淳

情報処理の司令塔である脳の働きは多くが未解明です。本研究室では、脳の構造と機能を理解するために脳活動の計測を行っています。また、脳に情報を伝送する細胞インターフェースと音響センサを開発し、将来的に医療と福祉に役立つ研究を目指しています。



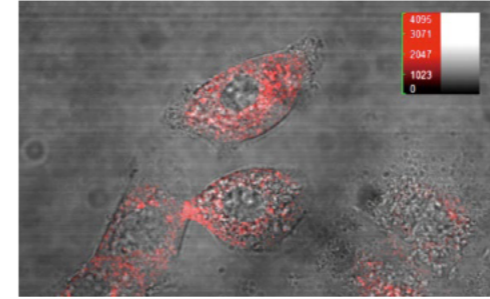
位相共役光による生体イメージング

人間情報工学研究室

教授:橋本 守
助教:加藤 祐次

医療における診断・治療技術の高度化を目指し、光や超音波による新たな技術の開発を進めています。特に組織を染色せずに見分ける非線形ラマン散乱を利用した内視鏡の実現や、超音波と光を組み合わせて治療を実現する技術の開発を目指しています。

電子科学研究所

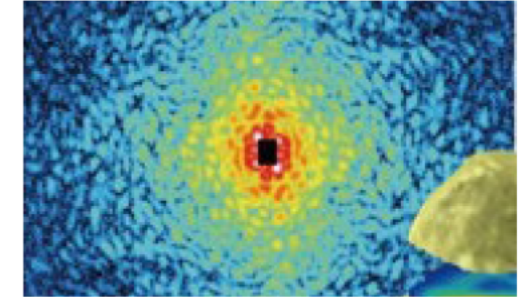


細胞レベルでの観察

ナノ材料光計測研究分野

教授:雲林院 宏 / 准教授:平井 健二 / 助教:Taemaitree, Farsai

私たちの研究室は、医療現場での診断や治療に役立つ薬・遺伝子輸送剤などのナノマテリアルを作成しています。また、細胞組織内でのナノマテリアルの行き先や役割を追跡する新しい顕微鏡の開発も行っています。

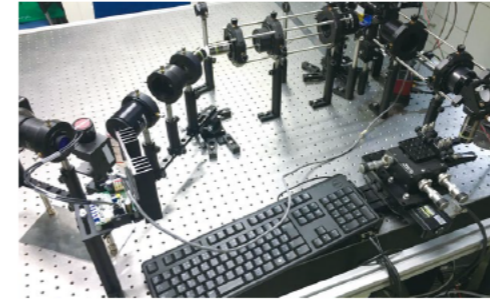


ヒト染色体のX線CT画像

コヒーレント光研究分野

教授:西野 吉則 / 准教授:鈴木 明大

日本が世界に誇る最先端のX線を使って「これまで人類が見ることのできなかった世界を見る」顕微鏡を開発し、生命機能の解明や地球環境問題の低減を目指した研究を進めています。研究では、スーパーコンピュータや先端のナノ加工装置も活用しています。

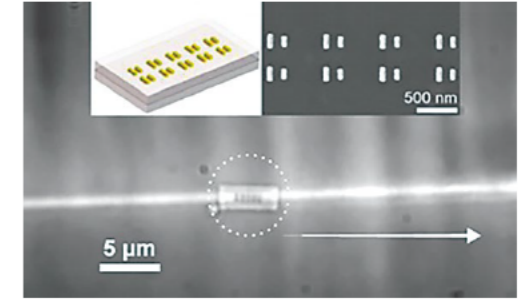


超高速3D蛍光顕微鏡

光情報生命科学研究分野

教授:三上 秀治 / 助教:石島 歩

最先端の光技術と情報技術を融合させ、生命科学に大きな進展をもたらす革新的技術の開発を行っています。具体的には超高速の3D蛍光顕微鏡による1ニューロンレベルでの脳活動計測、高速光波制御による光学的神経活動制御などの技術を開発しています。



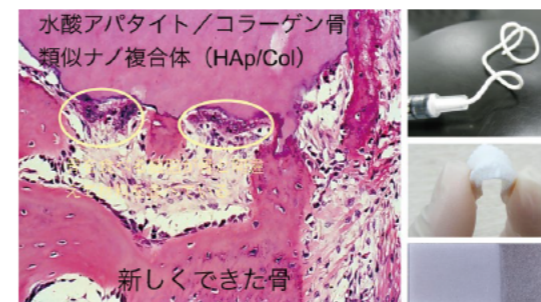
光を浴びて動くマイクロな潜水艦

極微システム光操作研究分野

教授:田中 嘉人 / 准教授:太田 竜一 / 助教:橋谷 俊

光と人工ナノ構造との力学的な相互作用を理解・制御することで、運動性や自律性といった生体の様々な機能を模倣したユニークな光駆動ナノロボットを創出し、未来の医療や薬物送達、健康管理など次世代技術を生み出すことを目指します。

先端医工学分野(連携分野)



HAp/Colを用いたペスト状人工骨(左)やそれを使った3Dプリント(右上)、金属に骨を早く呼び寄せるコーティング材料(右下)

国立研究開発法人物質・材料研究機構

客員教授:菊池 正紀

細胞機能を制御できる組織再生材料を目指して、セラミックスやセラミック/有機分子複合体のナノからマクロ構造を制御し、それらの機能性や実用性を生物学者・医学者らと協力して評価しています。



情報メディア技術を駆使し 世の中をもっと面白く

コンピュータの進化でさまざまな情報を処理・利用できるようになり、現代社会に大きな変化をもたらした情報革命。その中核となっているのは、通信とコンピュータの融合技術です。メディアネットワークコースでは、情報メディア技術のさらなる発展、それにより世の中や人々の生活がより豊かになるような革新を目指し、画像・映像・音響・音楽・自然言語など情報メディアに関する最先端の研究を進めています。また、人と人、人とコンピュータ、そしてコンピュータ間での高速・正確・円滑なコミュニケーションを実現するための手法と環境、システムとデバイスに関する分野、通信とコンピュータの融合によるコンピュータネットワークの進化(ユビキタス化)と社会状況に応じた多様な情報メディアなどの研究開発も行っています。



メディア ネットワークコース

course of media
and network technologies

主要カリキュラム

- 自然言語処理学特論 ■ メディア創生学特論
- メディア表現論特論 ■ コンピュータグラフィックス特論
- ネットワークシステム特論 ■ ワイヤレス伝送・環境電磁特論
- フォトニックネットワーク特論 ■ 適応コミュニケーション特論
- Complex Systems Modeling ■ ユビキタスネットワーク学特論
- メディアネットワーク社会学特論
- メディアネットワーク特別演習(修士課程)
- メディアネットワーク特別研究(博士後期課程) など

主専修と副専修の可能性

主専修	副専修	可能性
メディア ネットワーク コース	情報理工学コース	ビッグデータマイニング等に関する数理学とAI等の工学的手法を併せて学ぶことにより研究を支える基礎知識を拡充できる
	情報エレクトロニクスコース	情報伝達・処理技術を支える最新デバイス・材料に関する知識を学ぶことで情報伝達・処理技術の問題点を再認識し、新たな方向性を見出す
	生体情報工学コース	情報科学と生命科学の学際領域を学ぶことにより研究応用範囲の拡大や研究の新たなヒントの獲得が期待できる
	システム情報科学コース	システムという全体像を俯瞰した制御を通して実フィールドへの応用の難しき・複雑さを学ぶことで研究応用時の問題発見能力が向上する

情報メディア学分野



実験風景

言語メディア学研究室

准教授:伊藤 敏彦、Rzepka, Rafal / 助教:青木 直史

言語メディア学研究室では、コンピュータが言語を理解する自然言語処理をベースに人工知能の研究をしています。主な研究テーマは感情、言語コミュニケーション、対話リズム、インタラクション、HMI、暗黙知、言語獲得、ユーモア、機械倫理。



マルチメディアデータから気づきを生み出す最先端の情報可視化技術

メディアダイナミクス研究室

教授:長谷山 美紀、小川 貴弘 / 准教授:藤後 康

マルチメディア信号の特性に注目した新しい学問分野の創出を通じて、高度な人間の視聴覚認識メカニズムの解明、さらに、医用画像、脳活動・生体情報、地球・惑星画像、スポーツ映像、SNS・Web等の解析により未来の科学技術の発展に貢献しています。



持続可能なAIの構築に向けて

メディア創生学研究室

教授:長谷山 美紀 / 准教授:前田 圭介 / 助教:櫻井 慶悟

メディア創生学研究室は、マルチメディアデータと生体情報を対象としたAIの理論構築を通して、人間の認知プロセスの解明に挑戦しています。安全性が確保され、実社会で信頼されるAIを開発することで、AIと人間のコミュニケーションの加速に貢献しています。



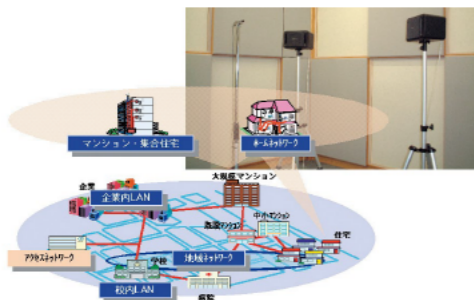
物理シミュレーション

情報メディア環境学研究室

教授:土橋 宜典 / 准教授:澤山 正貴 / 助教:姜 錫

物理空間とサイバー空間を融合する新しい情報メディアシステムの研究を進めています。CGや画像処理を中核技術として、デジタルアプリケーションやユーザーインターフェースなど、人間の創造活動を支援する新技術の提案と応用分野の開拓を行っています。

ユビキタスネットワーク学分野(連携分野)



NTTアクセスサービスシステム研究所

客員教授:高橋 央、島田 達也

NTTコミュニケーション科学基礎研究所

客員教授:原田 登、藤田 早苗

ネットワーク利用モデルの次世代化に向けて、ユビキタスネットワークを情報通信インフラと上で展開される情報サービスという2つの視点でとらえ、インフラからアプリケーションまでを総合的に学びます。

情報通信システム学分野

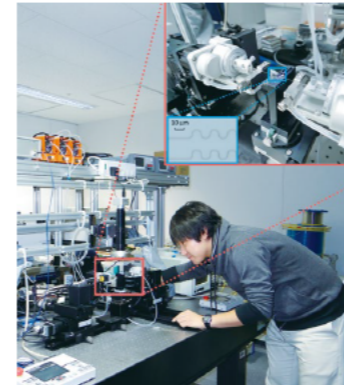


FPGA(書き換え可能なハードウェア)による画像処理のデモの様子

情報通信ネットワーク研究室

教授:大鐘 武雄
准教授:筒井 弘

液晶テレビやスマートフォンなどの応用情報機器は、日々の生活に必要不可欠となっています。私たちは、このような機器における動画・音声・ネットワーク処理のためのアルゴリズム開発とともに、ソフトウェアとハードウェアのトータル開発を推進しています。

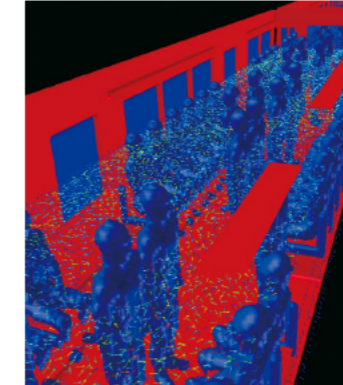


光導波路の測定

情報通信フォトンクス研究室

教授:齊藤 晋聖
准教授:佐藤 孝憲

伸び続ける情報通信需要に応えるため、光信号を伝える光ファイバー、光信号を生み出し、信号処理を行う光デバイス、そしてそれらを組み合わせた光通信システムを総合的に研究することにより、次世代光通信ネットワークの飛躍的な高度化を目指しています。



大規模数値解析による電車内の電波伝搬特性評価

ワイヤレス情報通信研究室

准教授:山本 学、日景 隆

さまざまな電波利用システムを高効率かつ環境と調和して利用するための先端技術について研究・開発を行っています。スーパーコンピュータや最新シミュレーション技法を用いた設計、電波暗室での測定等、理論と実験共に実力を持つ学生の育成を目指しています。



確率伝搬法の計算機シミュレーションの様子

インテリジェント情報通信研究室

教授:西村 寿彦
准教授:須藤 克弥

第6世代移動通信システム(6G)は、2030年代のサービス開始に向け激しい技術開発が進んでいます。通信技術の高度な発展により、サイバー空間と現実社会は融合され、これまではファンタジーの世界でしか存在しなかったことが実現されてくるでしょう。当研究室では、無線通信技術の高度化・効率化に向けた研究を行っています。

メディアネットワーク社会学分野(連携分野)



実際の移動通信ネットワーク装置

株式会社NTTドコモ

客員教授:岸山 祥久

本分野ではスマートフォン等の利用を支える移動通信ネットワークに関して、基本的な無線技術や5Gで採用されている最新技術を把握するとともに、国際標準化や宇宙への発展を含む民間企業での研究開発活動の概要について学びます。

ビッグデータとIoTに関する協同センター



シドニー工科大学

University of Technology Sydney

教授:Dutkiewicz, Eryk
Huang, Xiaojing
Liu, Ren Ping
Abolhasan, Mehran
准教授:Nanda, Priyadarsi
Shariati Moghadam, Negin
講師:He, Ying

1988年創立のシドニー工科大学は、文系、医系、工学系、情報科学系など9学部・研究科で構成されています。ビッグデータとIoTに関する協同センター(CCB)では情報科学系の教員が、IoT、次世代通信ネットワーク、サイバーセキュリティに関する教育・研究を担当します。



システム 情報科学コース

course of systems science
and informatics

高機能なシステムが 高機能な社会をつくる

システムとは、特定の目的を実現するために、それぞれ異なる役割を持った複数の要素で構成されるまとまりや仕組みのことを指します。そしてシステム情報科学とは、システムを実現するために電気・電子・制御・情報・機械などの要素技術を組み合わせて用いる学術分野のことです。システム情報科学コースでは、ありとあらゆるシステムをより機能的に、より効率的に、より快適にすることを旨とした基礎研究・応用研究を行い、電気・情報科学・システム科学を融合した新しいシステム構築技術の創造を目指しています。具体的には、ロボット、メカトロニクスシステム、生産・制御システム、電気エネルギーシステム、自然環境システムなどを対象として、ライフサイクルにわたる支援、すなわち設計・解析・生産・最適化・評価を行うための教育研究を行います。



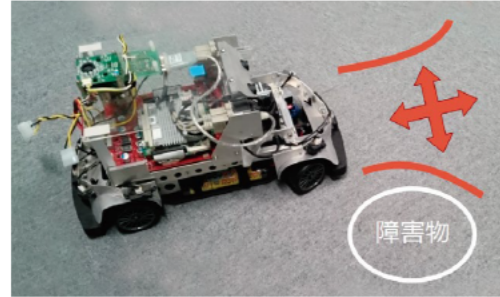
主要カリキュラム

- システム制御理論特論
- デジタル幾何処理工学特論
- ヒューマンセントリックシステム特論
- システム環境情報学特論 ■ 電気エネルギー変換特論
- 電力システム特論 ■ 電磁工学特論
- 知能システム特論 ■ システム創成学特論
- リモートセンシング情報学特論
- デジタルヒューマン情報学特論
- システム情報科学特別演習(修士課程)
- システム情報科学特別研究(博士後期課程) など

主専修と副専修の可能性

主専修	副専修	可能性
システム 情報科学コース	情報理工学コース	AI技術の活用による、エネルギー、自動車、ロボット、防災などの実システムにおける諸課題を解決する新しい研究分野を開拓
	情報エレクトロニクスコース	小型、高機能のセンサー技術による、エネルギー、メカトロニクスシステムなどの実システムに対する新しいサイバーフィールド構築技術の確立
	生体情報工学コース	医用工学技術の活用による、ロボット、防災などの実システムにおける諸課題を解決する新しい研究分野を開拓
	メディアネットワークコース	高速通信技術による、メカトロニクスシステム、防災などの実システムに対する新しいサイバーフィールド構築技術の確立

システム創成学分野



車両ロボットの障害物回避に関する実験

システム制御理論研究室

特任教授:山下 裕 / 教授:小林 孝一 / 准教授:米沢 安成

さまざまなダイナミカルシステムに対し、統一的に解析・制御する理論的特組みの構築を目指しています。安心・安全・快適なスマート社会の実現に向けて、高度な制御手法はますます重要になっています。また、車両ロボットなどを用いた実証実験も行っています。

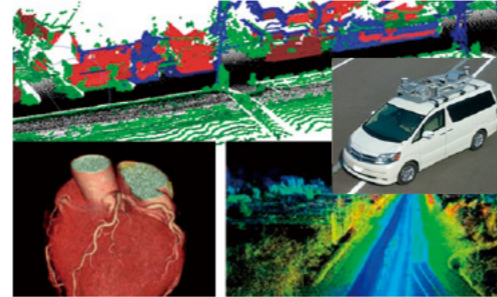


パワーアシストスーツ設計・評価のための動作計測実験

ヒューマンセントリック工学研究室

教授:田中 孝之 / 准教授:日下 聖

パワーアシストスーツやヒューマンインタフェース、見守り・監視システムなど、様々な人間中心のシステムを創り出す研究室です。ロボット・メカトロニクス、計測工学、人間工学をベースに“ひとにちょうどいい”システムを研究開発しています。

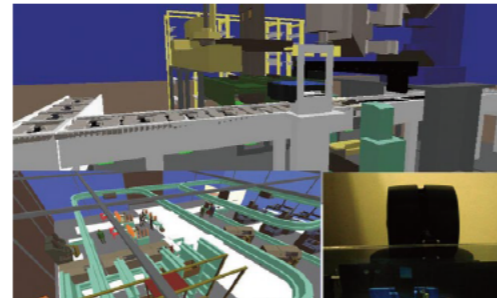


3次元計測データを融合した人工物の解析・設計技術

デジタル幾何処理工学研究室

教授:伊達 宏昭

自動車・建設・医療など現代の様々な産業で日々発生する3次元ビッグデータを分析・加工し、有用な情報を抽出するための数学的な理論と、そのソフトウェアによる実装技術、すなわち「役に立つ3次元コンピュータグラフィックス」の研究を行っています。



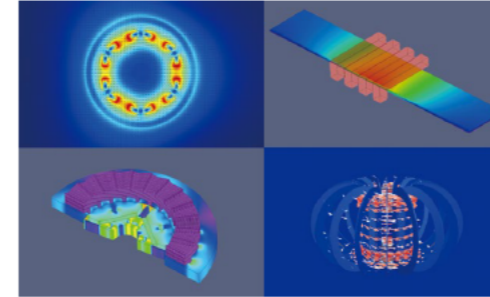
バーチャル・マニュファクチャリング

システム環境情報学研究室

特任准教授:田中 文基

サイバーフィールド、それは都市環境や、工場、災害現場といった実世界の状況と瓜二つの仮想世界をコンピュータ内に構築し、実世界と仮想世界が表裏一体となった空間です。本研究室では生産システムと防災を中心にサイバーフィールド研究に取り組んでいます。

システム融合学分野



電磁機器および超電導機器の高精度数値解析

電気エネルギー変換研究室

教授:野口 聡 / 准教授:比留間 真悟 / 助教:間藤 昂允

電気エネルギーの効果的な生成・利用は、未来社会への大きな挑戦です。超電導技術や数値解析技術による電気機器の高効率化や未来エネルギーの発生手法などの開発に取り組んでいます。近年は、AI技術の活用特に力を入れています。

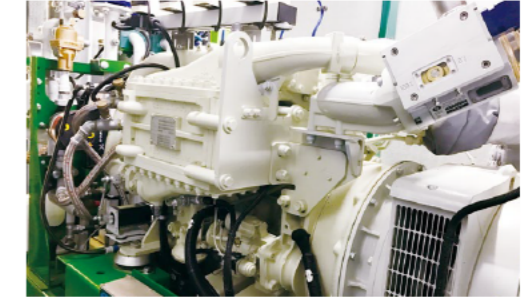


コンデンサ絶縁型直流変換器の実験

電磁工学研究室

教授:萩原 誠

電気自動車・燃料電池車・電動航空機等、移動に適用される小型・軽量直流変換器の研究、蓄電池搭載電気鉄道用技術の開発、再生可能エネルギー用半導体電力変換技術に関する研究、疑似慣性機能を有する電力システム用半導体電力変換器の研究を行っています。



Power To Heat用バイガス発電機

電力システム研究室

教授:北 裕幸 / 准教授:原 亮一 / 特任助教:川島 伸明

私たちの生活や社会に必要な不可欠な電気エネルギーを、有効かつ経済的・安定的に生成し送るための技術を、ソフト的・ハード的・システム的な視点から、多角的に研究しています。近年では特に、再生可能エネルギー発電を活用するための技術を開発しています。



ヒューマノイドロボットHRP-2

知能ロボットシステム研究室

教授:近野 敬 / 特任教授:金井 理 / 准教授:妹尾 拓 / 特任助教:西岡 拳、王 旭、劉 建

人間が近寄れない環境で作業するヒューマノイドロボット、難しい手術の前に試行錯誤できる手術シミュレータ、高速な操りを実現するロボットハンド、高度な環境認識が可能な実時間画像処理など、ロボット技術で社会に役立つ研究をしています。

リモートセンシング情報学分野(連携分野)



温室効果ガス観測技術衛星2号「いぶき2号」(GOSAT-2)

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 (JAXA)

客員教授:田殿 武雄 / 客員准教授:塩見 慶、村上 浩

現代社会では、人工衛星によって取得されたデータが気象観測や災害監視等の様々な分野で活用されています。私たちは地球観測衛星を用いて多種多様なデータを広領域かつ詳細にセンシングするシステムを研究開発しています。

デジタルヒューマン情報学分野(連携分野)



デジタルヒューマンを基軸としたサイバー・フィジカルインタラクション

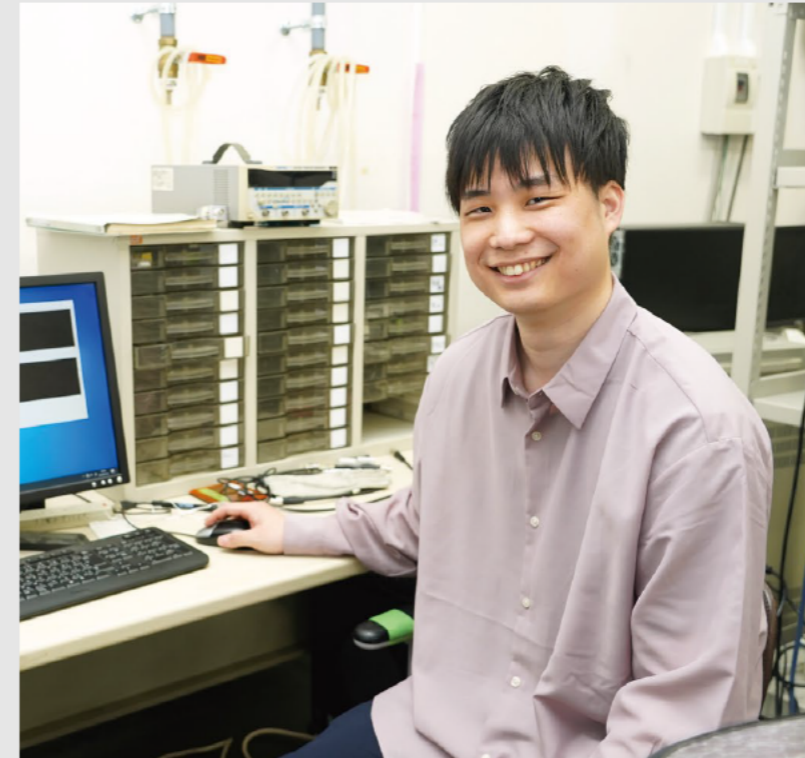
国立研究開発法人 産業技術総合研究所

客員教授:多田 充徳、宮田 なつき / 客員准教授:遠藤 維

生活・就労の質や身体能力を高めるために、個人の体型や行動・認知様式を再現したデジタルヒューマンモデルを用いて、様々な現場における人の状態計測と、それに応じた適切な介入を実現するための研究に取り組んでいます。

STUDENTS' VOICE

博士課程に進み、
日々研究に打ち込む情報科学院の先輩。
今夢中になっている研究を、
将来どのような分野で役立てたいのか...。
新たな道を切り拓こうとする、先輩たちの声をご紹介します。



VOICE.
02 / mineto ogawa

研究に集中できるからこそ 得られる一生ものの力

博士後期課程では、豊富な大学の設備を使い、先生方に熱心なご指導をいただきながら研究テーマに取り組んでいます。また、修士に比べて卒業に必要な単位数は少なく、研究に集中しやすい環境です。その分研究成果を出さないといけないプレッシャーがありますが、それがやりがいでもあります。研究を通じて得た高度な専門知識やスキルは一生役立つもの。少しでも興味がある人は情報収集をしてみると良いと思います。

情報エレクトロニクスコース／博士後期課程1年
小川 峰登さん

VOICE.
01 / maino shinohara

出る杭になる覚悟 その先に見えた進学という道

進学のきっかけは、修士1年のときに書いた論文が国際会議に採択されたことでした。その際にさまざまな刺激を受け、専門分野の入口に立ったこの経験を生かしたいと思ったのです。博士後期課程はマイノリティであり、すなわち「出る杭」となることに舵を切るともいえます。しかし、その専門性は社会で「代替しづらい人材」として役立てられるはず。進学・就職に正解はないので、後悔のない選択をしてください！

情報理工学コース／博士後期課程1年
篠原 舞乃さん



VOICE.
03 / nozomi tanaka

自分らしく働くために 選択肢を広げられる進路へ

修士修了後、メーカーの技術職に就職。しかし企業では開発スケジュールに縛られることが多く、限界を感じました。博士号を取得すれば再び企業に戻った際に自分の志向に合った仕事へ参画しやすくなると考え、進学。現在は新しい課題を自分で設定し手を動かせる環境にあり、毎日充実しています。ここには社会人経験のある人や、働きながら研究をする人も珍しくありません。様々な選択肢が広がっていますよ。

生体情報工学コース／博士後期課程1年
田中 望実さん



※記事内容は取材当時のものです

VOICE.
04 taichi muratsubaki

早めの対策で、憧れを 現実にしていこう

学部生の頃から「もっと学問を究めたい」という思いがあり、進学を決めました。最初は経済的な不安もありましたが、博士学生への経済的支援制度は学内外ともに想像以上に充実しています。早めに意思を固めて、着実に成果を積み重ねれば、進みたい道にはきっと進めます。博士課程ではITスキル以外にも、プレゼンテーションや批判的思考など多くのスキルを学びました。悩んで選択するほど、よりよい結果に近づけますよ。

メディアネットワークコース/博士後期課程2年
村椿 太一さん



VOICE.
05 hiromu mori

支援制度は心強い味方。 恵まれた環境で存分に学ぼう。

「自分はどう生きるのか」は、就職活動期間に差し掛かると、誰もが考えるテーマです。私は博士課程を通して研究と真摯に向き合い続けることが、「教員になりたい」自分への様々な糧になると考えました。幸いEXEX博士人材フェローシップに採用されたことで生活を支援いただき、恵まれた研究環境のもと日々成長しています。将来に悩んだら、自分が大切にしたいことを素直に言葉にすることをおすすめします。

システム情報科学コース/博士後期課程1年
森 啓さん

※記事内容は取材当時のものです

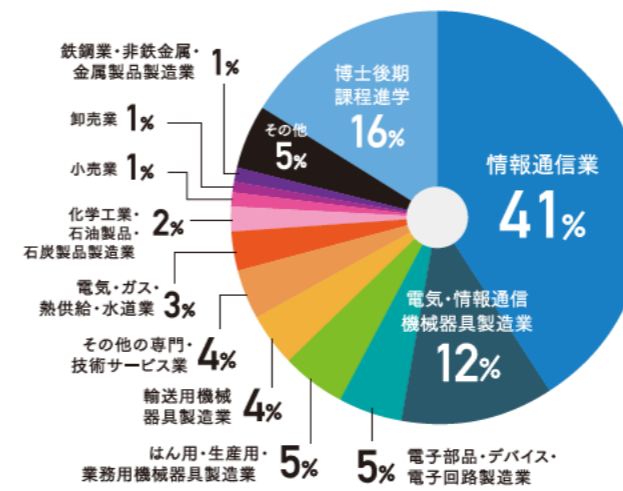
CAREER

主な就職先

[2023年度～2025年度]

近年の大学院修士課程修了後の就職実績データを分類別にご紹介します。

就職先業種分類



輸送用機械器具製造業

いすゞ自動車/スズキ/デンソー/トヨタ自動車/日産自動車/
本田技研工業/三菱重工業/Letara

その他の専門・技術サービス業

KPMGコンサルティング/JSOL/電通総研/博報堂/
PwCコンサルティング合同会社

電気・ガス・熱供給・水道業

関西電力/中部電力/東京ガス/北海道ガス
北海道電力/北海道電力ネットワーク

化学工業・石油製品・石炭製品製造業

第一三共/中外製薬工業/日本ケミコン/富士フィルム

小売業・卸売業

豊田通商/ニトリ/日立ハイテク/三井物産

鉄鋼業・非鉄金属・金属製品製造業

JFEスチール/住友電気工業/日本製鉄

その他

ANAウイングス/大阪市役所/経済産業省 特許庁/
キリンホールディングス/ジェシービー/SCREENホールディングス/
損害保険ジャパン/長江存儲科技有限責任公司/
西日本旅客鉄道(JR西日本)/野村不動産/
ベネッセコーポレーション/防衛省/三井住友銀行/ヤマハ

情報通信業

アクセンチュア/NTTデータ/NTTドコモ/KDDI/コエーテックモゲームス/
サイボウズ/ソニーデジタルネットワークアプリケーションズ/ソフトバンク/
DMG MORI Digital/日鉄ソリューションズ/日本IBM/野村総合研究所/
東日本電信電話(NTT東日本)/HUAWEI/freee/三菱総合研究所/LINEヤフー

電気・情報通信機械器具製造業

シャープ/ソシオネクスト/ソニー/東京エレクトロン/東芝/
日本電気(NEC)/日立製作所/ファナック/富士通/三菱電機

電子部品・デバイス・電子回路製造業

ソニーセミコンダクタソリューションズ/デンソーテクノ/村田製作所/
東芝デバイス&ストレージ/ルネサスエレクトロニクス

はん用・生産用・業務用機械器具製造業

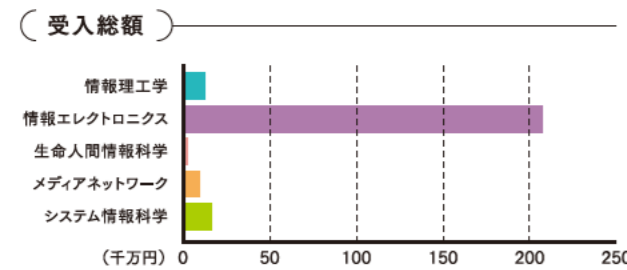
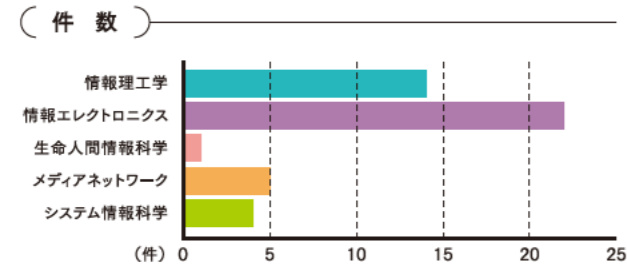
オリンパス/キーエンス/島津製作所/セイコーエプソン/ニコン

2025年度 外部資金

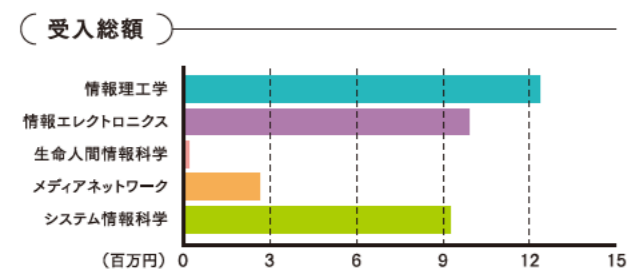
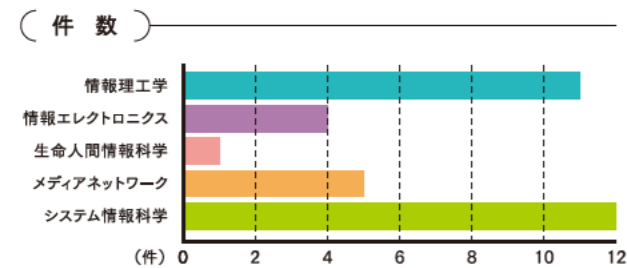
(単位:円)

外部資金		受入総額	直接経費	間接経費/産学連携推進経費
受託研究費		2,472,439,997	1,903,037,045	569,402,952
共同研究費		350,718,351	284,941,291	65,777,060
寄附金		34,308,095	34,308,095	0
科学研究費	文部科学省・日本学術振興会	248,820,000	191,400,000	57,420,000
	特別研究員奨励費	15,800,000	15,800,000	0

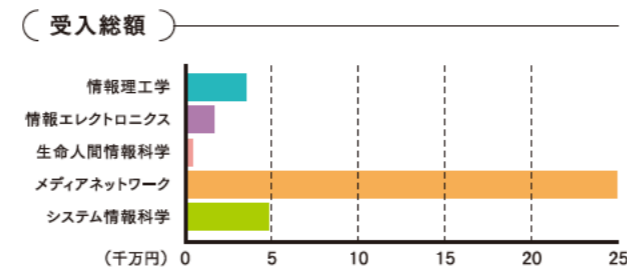
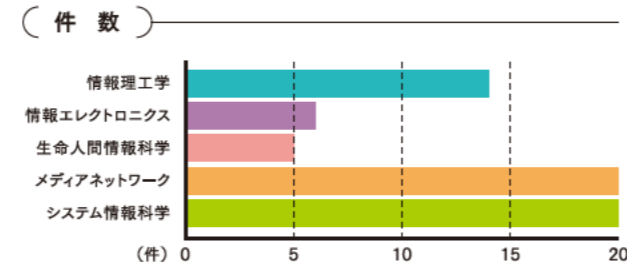
受託研究費



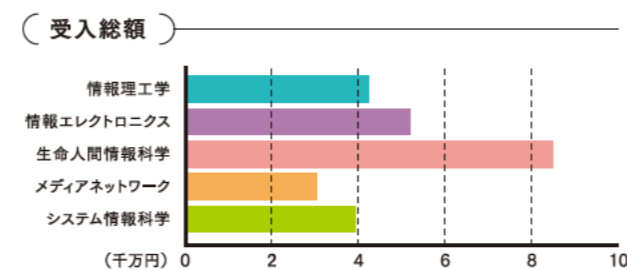
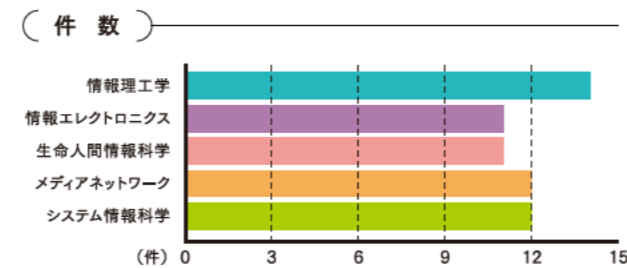
寄附金



共同研究費



科学研究費 (文部科学省・日本学術振興会)



(令和8年3月1日現在)

情報理工学コース

複合情報工学分野	知識ソフトウェア科学分野	数理科学分野
教授 ・川村 秀憲 ・坂本 大介 ・野田 五十樹 ・山本 雅人	准教授 ・坂地 泰紀 ・田村 康将	助教 ・横山 想一郎
教授 ・有村 博紀 ・中村 篤祥 ・堀山 貴史 ・吉岡 真治	准教授 ・Nguyen, Dai, Hai ・小林 靖明 ・脊戸 和寿 ・李 吉屹	助教 ・磯間 達也
情報基盤センター 教授 ・飯田 勝吉 ・梅田 隆行 ・南 弘征 ・横朝 雅晴	准教授 ・近藤 賢郎 ・杉木 章義 ・深谷 猛	助教 ・佐竹 祐樹
理学研究院 教授 ・沼田 泰英	ビッグデータとIoTに関する協同センター (マサチューセッツ大学アマースト校) 教授 ・Allan, James ・Zilberstein, Shlomo	教授 ・杉本 雅則 ・田中 章 ・松原 崇
		助教 ・河川 万由香(特任) ・Xiao, Ling ・中村 将成 ・宮原 英之

情報エレクトロニクスコース

集積システム分野	先端エレクトロニクス分野	量子集積エレクトロニクス研究センター	電子科学研究所
教授 ・浅井 哲也 ・富岡 克広 ・樋浦 諭志 ・丸亀 孝生 ・本久 順一	准教授 ・安藤 洸太 ・菅原 広剛	教授 ・池辺 将之 ・石川 史太郎 ・葛西 誠也	教授 ・太田 裕道 ・中野谷 一 ・田口 敦清
助教 ・植村 哲也 ・末岡 和久 ・竹井 邦晴 ・徳永 裕己	准教授 ・Subagyo, Agus ・岡本 淳(特任) ・古賀 貴亮 ・山ノ内 路彦	准教授 ・赤澤 正道 ・佐藤 威友 ・谷田部 然治	助教 ・石井 智大 ・ジョン アロン

生体情報工学コース

バイオインフォマティクス分野	バイオエンジニアリング分野	電子科学研究所	先端医工学分野(連携分野)
教授 ・今西 規(客員) ・遠藤 俊徳 ・渡邊 日出海	教授 ・岡嶋 孝治 ・館野 高 ・橋本 守 ・平田 拓 ・松元 慎吾	教授 ・雲林院 宏 ・田中 嘉人 ・西野 吉則 ・三上 秀治	教授 ・菊池 正紀(客員)
准教授 ・長田 直樹 ・小柳 香奈子	准教授 ・西川 淳 ・加藤 祐次	准教授 ・太田 竜一 ・鈴木 明大 ・平井 健二	助教 ・石島 歩 ・Taemaitree, Farsai ・橋谷田 俊

メディアネットワークコース

情報メディア学分野	情報通信システム学分野	ユビキタスネットワーク学分野(連携分野)	メディアネットワーク社会学分野(連携分野)	ビッグデータとIoTに関する協同センター(シドニー工科大学)
教授 ・小川 貴弘 ・土橋 宜典 ・長谷山 美紀	教授 ・大鐘 武雄 ・齊藤 晋聖 ・西村 寿彦	教授 ・高橋 央(客員) ・原田 登(客員) ・島田 達也(客員) ・藤田 早苗(客員)	教授 ・岸山 祥久(客員)	教授 ・Dutkiewicz, Eryk ・Huang, Xiaojing ・Liu, Ren Ping ・Abolhasan, Mehran
准教授 ・伊藤 敏彦 ・澤山 正貴 ・Rzepka, Rafal ・藤後 康 ・前田 圭介	准教授 ・青木 直史 ・姜 錫 ・櫻井 廣悟	准教授 ・佐藤 孝憲 ・須藤 克弥 ・筒井 弘 ・日景 隆 ・山本 学		准教授 ・Nanda, Priyadarsi ・Shariati Moghadam, Negin

システム情報科学コース

システム創成学分野	システム融合学分野	リモートセンシング情報学(連携分野)	デジタルヒューマン情報学(連携分野)
教授 ・小林 孝一 ・伊達 宏昭	教授 ・金井 理(特任) ・北 裕幸 ・近野 敦	教授 ・田殿 武雄(客員)	教授 ・多田 充徳(客員) ・富田 なつき(客員)
准教授 ・田中 孝之 ・山下 裕(特任)	准教授 ・野口 聡 ・萩原 誠 ・比留間 真悟	准教授 ・塩見 慶(客員) ・村上 浩(客員)	准教授 ・遠藤 維(客員)
助教 ・日下 聖 ・田中 文基(特任) ・米沢 安成	助教 ・妹尾 拓 ・原 亮一 ・劉建(特任)		助教 ・王 旭(特任) ・川島 伸明(特任) ・西岡 季(特任) ・間藤 昂允 ・劉建(特任)

(五十音順、令和8年4月1日現在)